

# ナーシング ベビー

## 取扱説明書



**Laerdal**  
helping save lives

## 目次

保証 .....	3
推奨項目 .....	4
パッケージ内容 .....	4
トレーニング項目 .....	5
大泉門の設定 .....	5
気道管理 .....	5
気管切開孔プラグ .....	6
気管切開後のケアと吸引 .....	6
経鼻胃チューブの挿入 .....	7
肺の装着と取外し .....	7
IV アーム .....	7
IV アームの皮膚と静脈の交換 .....	8
IV レッグ .....	8
IV レッグの皮膚と静脈の交換 .....	9
IO レッグ .....	9
IO レッグ骨髄穿刺 .....	9
IO レッグ 骨髄内輸液 .....	10
骨髄内輸液の方法 .....	10
IO レッグの交換 .....	10
音声の聴取および心音・呼吸音・腹部音（腸雑音）の聴診 .....	10
外性器 .....	11
導尿カテーテルと坐薬の挿入 .....	11
トラブルシューティング .....	12
手入れとメンテナンス .....	13
交換部品 .....	13

---

## 保証

レールダル メディカルでは材質及び製品の欠陥について、ご購入後 1 年間の保証を致します。製品不良・欠陥が認められた場合はレールダル製品取扱販売店へご連絡ください。

レールダル メディカルは以下の場合において、安全性、信頼性、製品のパフォーマンスに責任を持ちます。

- ・ レールダル メディカルのスタッフまたはレールダル メディカルによって認定されたスタッフによって修理、調整、変更等が行われた場合。
- ・ 取扱説明書に従って適切に使用された場合。

レールダル メディカルにより認定されていない者による修理・改造等が行われた場合の故障、及び不適切な使用方法により故障などが発生した場合には、この保証は適用されません。

またバッテリー、バルブ、ヒューズ、通常使用における摩擦・損傷、汚れ、褪色、製品自体の性能を妨げたり低下させたりすることのない外見上の欠陥等に対しては、この保証は適用されません。

保証期間内であっても次のような場合は有償修理となります。

- ・ 誤った使用、改造、不当な修理等による故障または損傷
- ・ お客様による輸送・移動時の落下、衝撃等によって発生した故障または損傷
- ・ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変等の不可避的事故で発生した故障又は損傷
- ・ 消耗品（電池・バルーン・等）の交換
- ・ お客様のご要望で実施する当社規定外の保守サービス
- ・ 故障又は損傷の原因が、本製品以外の他社製品に由来する場合

## サービス

全ての部品は交換可能です。部品が消耗・破損した場合は巻末の部品リストをご参照ください。交換部品のご購入は、各地域のレールダル製品取扱販売店へご注文ください。ご不明な点はレールダル メディカル ジャパン株式会社カスタマーサービスまでお問合せ下さい。

---

ナーシング ベビーは生後 6 ヶ月の乳児を再現し全身マネキンで、特に専門家による看護ケアの基礎・応用、トレーニング用にデザインされています。

正しい手入れとメンテナンスにより、高い品質を保つことが出来ます。

---

### 推奨項目

気管チューブ : 3.5mm

喉頭鏡 : サイズ#1 の直ブレード

気管切開チューブ : 3.5 PED

経鼻胃・栄養チューブ : サイズ 8Fr

注射針・カテーテル : サイズ 22G 以下

経鼻・経口吸引 : サイズ 8Fr

導尿カテーテル : サイズ 8 Fr の Foley

骨髄内投与 : サイズ 16G

### パッケージ内容

- 乳児全身マネキン
- バイタルシム
- 男性外性器
- 女性外性器
- 乳児用パンツ
- 擬似座薬
- 潤滑スプレー
- ツールキット
- キャリングケース
- 接続ケーブル

(擬似血液は付属していません)

## トレーニング項目

- 乳児の一般的診断
- バッグバルブマスク換気
- 気管処置と吸引
- 経口／経鼻吸引
- 経鼻胃チューブ挿入
- 経口胃チューブ挿入
- 胃洗浄／胃管栄養法
- 骨髄穿刺・薬剤投与
- 筋肉注射部位特定
- 導尿カテーテル
- 座薬の投与
- ストーマ ケア
- 胃瘻栄養チューブ ケア
- 心音、呼吸音、腹部音（腸雑音）の聴診
- 経口挿管
- 経鼻挿管
- 経口エアウェイ挿入
- 経鼻エアウェイ挿入
- 発声による訴えの認識

## 大泉門の設定

マネキンから出ている黒色のゴム球を用い、正常、膨隆、陥没それぞれの状態をシミュレートできます。

1. 正常な、または膨隆した状態のシミュレート
  - a) ゴム球のツマミを時計回りに手で回し、締めてください。
  - b) 適度な状態になるまでゴム球を押して膨らませます。
2. 陥没した状態のシミュレート
  - a) バルブの銀色のツマミを反時計回りに手で回し、緩めてください。
  - b) ゴム球を押し、陥没した状態になるまで空気を抜きます。

### 推奨

気管チューブ：3.5mm

喉頭鏡：サイズ#1 の直ブレード

気管切開チューブ：3.5 PED

## 気道管理

マネキンの咽頭、鼻腔および使用するチューブの内側に、付属のマネキン潤滑剤を十分に塗布します（液体洗剤でも代用可能です）。

## 気管切開孔プラグ

プラグをつまんで持ち上げると外れます。  
装着する際は穴にしっかりと押し込んで  
ください。

## 気管切開後のケアと吸引

1. 低刺激性の液体洗剤と水を半々にコップに入れて混ぜます。
2. 胸部スキンを外し、スピーカー付の胸部プレートを持ち上げます。

(写真 1)

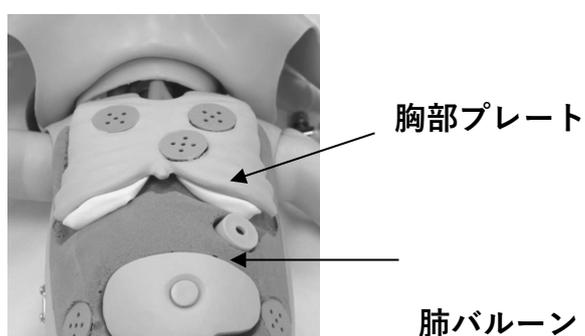


写真 1

3. 白色の肺バルーンを取り外します。
4. 1. で作った液を、カテーテルで吸引できるような充分な量を肺バルーンに注ぎます。
5. 肺バルーンを気管支チューブに戻します。

使用後はすぐに液抜きし、肺を自然乾燥させてください。

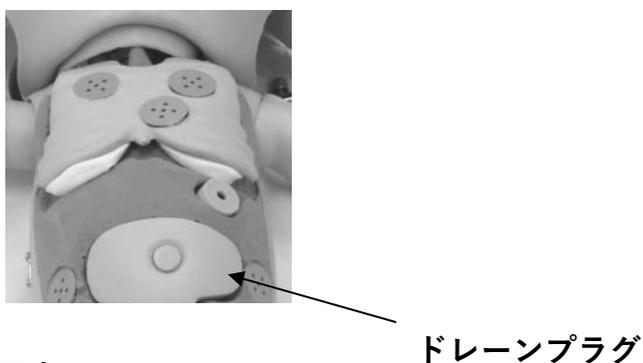


写真 2

### 推奨

経鼻胃／栄養チューブーサイズ 8 フレンチ

## 経鼻胃チューブの挿入

### 1. 胃リザーバータンク内に水を入れる

- a. マネキン背部のストラップを外し、胸部スキンを取り外します。
- b. マネキンを仰向けにします。
- c. 胃リザーバータンクのドレンプラグを外します。（写真 2）
- d. シリンジで約 50cc の水を注入します。
- e. ドレンプラグを元通りにはめます。
- f. 胸部スキンを装着し、ストラップを戻します。

### 2. 使用後に胃タンクから水を抜きとる

- a. マネキン背部のストラップを外し、胸部スキンを取り外します。
- b. マネキンを仰向けにします。
- c. 胃リザーバータンクのドレンプラグを外します。
- d. マネキンを傾げるか、シリンジを使用して液を抜きます。
- e. 乾燥させてから部品を元に戻します。

## 肺の装着と取外し

肺を取り外すには、気管支チューブの結束バンドを外します。元に戻すには、これと逆の手順で行ってください。その際、ピンセットで結束バンドを広げ、Y 字コネクタにかぶせるようにすると、簡単です。

## IV アーム

1. 10cc のシリンジに擬似血液（色付きの液体で可）を入れます。
2. 血管の一端に 1. のシリンジを差し込みます。
3. 腕全体の血管に液体が充填されるよう、ゆっくりと注入します。
4. 液が十分全体に回ったら、止血鉗子等を使って血管の出口側を挟みます。  
（図 1）
5. 静脈穿刺の準備は完了です。

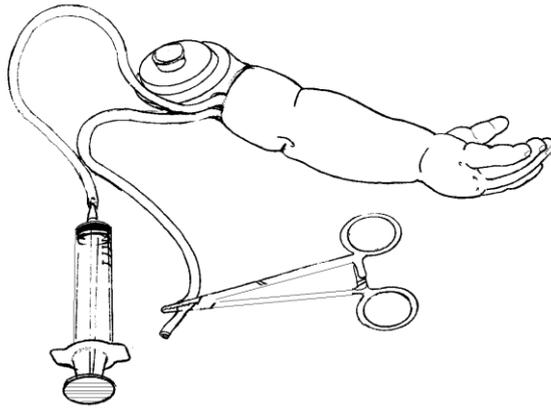


図 1

### 推奨

IV や筋肉注射の場合、22G 以下の針を使用してください。マネキンのスキンが長持ちします。

## IV アームの皮膚と静脈の交換

1. IV アームを外します。肘でネジ留めしてあるので回ながら外して下さい。
2. 皮膚をひっぱって外します。
3. アームから静脈チューブを外します。
4. 静脈チューブをはめ込む溝を良く洗って乾燥させ、アルコール綿で拭いてください。接着剤が残っている場合は必ず剥がしてください。
5. 溝に沿って新しい静脈チューブを装着します。瞬間接着剤を用い、予め幾つかの箇所を接着しておくことで確実に固定できます。
6. 新しい皮膚の穴へ静脈チューブを通します。
7. 皮膚を腕にかぶせます。腕の表面にベビーパウダーをまぶしておくことで、容易に入ります。
8. IV アームを元に戻します。

## IV レッグ

1. 12cc のシリンジに擬似血液（色付きの液体で可）を入れます。
2. 血管の一端に 1. のシリンジを差し込みます。
3. 下肢全体の血管に液体が充填されるよう、ゆっくりと注入します。
4. 液が十分全体に回ったら、止血鉗子等を使って血管の出口側を挟みます。

これで静脈穿刺の準備は完了です。

## IV レッグの皮膚と静脈の交換

1. ネジ止めされた IV レッグを膝から外します。  
(図 2)
2. 皮膚をひっぱって外します。IV レッグから静脈チューブを外します。
3. IV レッグから静脈チューブを外します。
4. 静脈チューブをはめ込む溝を良く洗って乾燥させ、アルコール綿で拭いてください。接着剤が残っている場合は必ず剥がしてください。
5. 溝に沿って新しい静脈チューブを装着します。瞬間接着剤を用い、予め幾つかの箇所を接着しておく確実に固定できます。
6. 新しい皮膚にチューブを挿入します。
7. 皮膚を足にかぶせます。表面にベビーパウダーをまぶしておく、容易に入ります。
8. IV レッグを時計回りに回して膝にはめます。

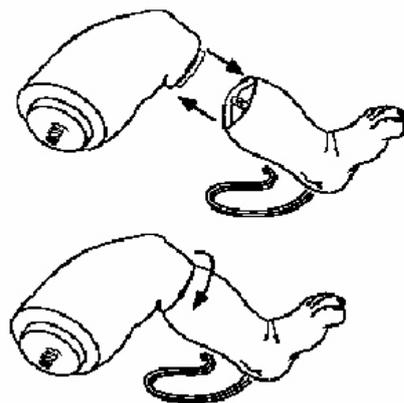


図 2

## IO レッグ

乳児 IO レッグは、骨髄穿刺と骨髄内輸液の手技を完全に習得できるようにデザインされています。IO レッグのランドマークには、脛骨粗面と内果があります。

## IO レッグ骨髄穿刺

1. 右足踵のドレーンプラグを外します。(図 3)
2. シリンジを使って約 300cc の液体を注入します。(別売の擬似血液も使えます。)
3. プラグを元に戻します。

これで骨髄穿刺の準備は完了です。



図 3

### 推奨

骨髄穿刺には、16G の骨髄穿刺針を使ってください。

## IO レッグ 骨髄内輸液

使用する器具：

- ・ IV バッグ
- ・ IV 投与セット
- ・ 擬似血液（別売、代用品可）
- ・ シリンジ
- ・ 骨髄穿刺針

### 骨髄内輸液の方法

1. IV バッグにチューブコネクタを取り付けます。
2. IO レッグを裏返します。
3. 右足踵のドレインプラグを外します。（図 3）
4. シリンジを使って骨内に約 120cc の擬似血液を注入します。
5. チューブとリザーバーバッグを装着します。
6. 擬似血液が骨内に充填された状態でリザーバーバッグに繋げてあるチューブをクランプしておくことで吸引できるようになります。（薬剤を投与した場合には、必要に応じてクランプを開閉してください。）
7. リザーバーバッグが一杯になった場合にはバッグを取り替えて下さい。

### IO レッグの交換

1. 膝のネジを外し、下肢と足を外します。
2. 新しい IO レッグを用意します。
3. 新しい皮膚をレッグにかぶせます。（ベビーパウダーをまぶすと楽に行えます。）
4. IO レッグを元に戻し、ネジ止めします。

### 音声の聴取および心音・呼吸音・腹部音（腸雑音）の聴診

ナーシング ベビーを、ケーブルでリンクボックスに接続します。（写真 3）

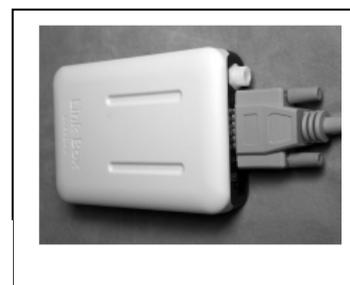


写真 3

心音・呼吸音・腹部音（腸雑音）の聴診についての詳細は、**SimPad の取扱説明書**をご覧ください。

## 外性器

導尿カテーテルと浣腸のトレーニング用に男女両方の外性器が用意されています。

### 外性器の装着方法

1. マネキン背部のストラップを外し、胸部スキンを取り外します。
2. 骨盤ピンを外し（写真4）、尿リザーバーを取り外します。

**注意：骨盤ピンは後で必ず元に戻してください。**

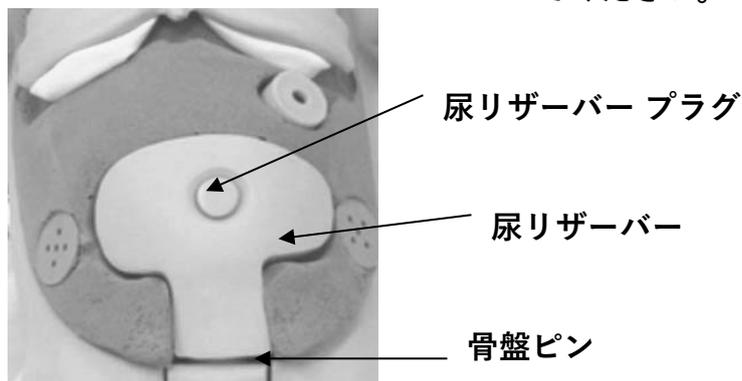


写真4

3. 外性器の透明なチューブを、リザーバーのチューブに差し込み、外性器を装着します。
4. 外性器を装着した尿リザーバーを、下腹部の溝に沿って戻します。
5. 骨盤ピンを元に戻します。
6. 胸部スキンをかぶせ、背面のストラップで止めます。

**骨盤ピンは必ず元に戻してください。**

戻し忘れると骨盤が広がってしまい、外性器をマネキンに装着できなくなる場合があります。

## 導尿カテーテルと坐薬の挿入

1. マネキン背部のストラップを外し、胸部スキンを取り外します。

2. 尿リザーバー（写真 4）と外性器を取り外します。
3. シリンジを使い、リザーバーに液を充填して戻します。
4. 胸部スキンを元に戻し、ストラップで止めます。

#### 推奨

カテーテルと坐薬には、使用前に潤滑スプレーなどを塗布し、滑りやすくしてください。

#### 推奨

導尿には、サイズ 8Fr の Foley カテーテルをお勧めします。

*肛門部は、坐薬の挿入トレーニング専用で作られています。*

## トラブルシューティング

### ・導尿カテーテルの挿入が困難な場合

挿入を容易にするには、カテーテル使用前に潤滑スプレーを十分に塗布してください。液体洗剤の原液などでも代用可能です。繰り返し使用しているうちに水で潤滑剤が流され、摩擦でひっかかるようになってしまいます。この場合は潤滑剤をたっぷりかけ、尿道に何度か抜き差ししてください。

### ・導尿カテーテルの抜去が困難な場合

抜去時にカテーテルがひっかかる場合は、しばらく抜き差しを繰り返してください。可能であればリザーバーにぬるま湯を入れ、潤滑剤や洗剤がカテーテル周囲で固まるのを避けます。また、バルブを外す際には必ずリザーバーの液抜きを行ってください。

## 手入れとメンテナンス

1. マネキンや部品を、洗浄液や水に浸さないで下さい。
2. マネキンは必ず清潔な面の上でご使用ください。マーカーペン、インク、アセトン、ヨウ素などの染色液は使用せず、また新聞・雑誌など印刷物の上での使用も避けてください。
3. トレーニングごとにクリーニングし、また定期的な点検を実施する事により、マネキンが長持ちします。
4. 各モジュールや部品類は、保管前に必ず液抜きし、完全に自然乾燥させてください。必要に応じて消毒も行ってください。
5. 可動部分は、トレーニング前にベビーパウダーを軽くまぶしておくことで、動きが軽くなります。
6. 使用後は正しく保管してください。

## 交換部品

<u>部品番号</u>	<u>名称</u>
365-01650	胴体スキン
365-01750	気管プラグ（ナーシングベビー）
365-02250	肺（NRB用風船タイプ）2個入
365-02350	肺バンド固定具
365-02850	頭部一式（ナーシングベビー）
365-02950	腹部リザーバ（ナーシングベビー）
365-00301	幼児IVアーム
365-00101	幼児IVレッグ
365-00201	幼児骨髄穿刺トレーニングレッグ
365-03150	ナーシングベビー外性器キット
250-21050	潤滑剤（45ml）
204-30001	SimPadPLUSシステム

お問い合わせ：

レールダルメディカルジャパン株式会社

050-3733-2698 / CustomerService.jp@laerdal.com

2024.04